

Patient Mindscape : BMI 聴取概要

? 調査概要

調査目的：医療消費者・患者の「症状実態」
「治療疾患」「使用薬剤」を確認する
調査方法：インターネット調査
調査対象：15歳～89歳の男女（全国）

有効回答：501,603 s（2024年度調査）
調査期間：年1回（8月）
調査主体：株式会社インテージヘルスケア

«Patient Mindscape 主な聴取項目（一部抜粋）»

属性情報

- ✓ 性別／年齢
- ✓ 居住地
- ✓ 職業
- ✓ 世帯年収
- ✓ 健康診断の頻度*

*2024年度調査より聴取

症状／治療疾患

- ✓ 予防・対応した症状
- ✓ 経験した症状・状態
- ✓ 医師から薬をもらった病気
- ✓ 受診きっかけ
- ✓ 治療満足度／治療不満点

使用薬剤

- ✓ 使用薬剤／銘柄指定
- ✓ 使用回数
- ✓ 使用期間
- ✓ 薬剤不満点／使用中止理由

! 2024年度調査では回答者のBMIを新たに項目として提供しており、
その他属性や聴取項目と組み合わせて医療消費者のニーズをBMIの視点から分析可能。
本調査における、BMI回答構成は以下の通りです。 ※身長・体重のデータは提供対象外

Patient
Mindscape
回答者
BMI構成*低体重
9%普通体重
59%肥満
20%BMI
回答なし
12%*肥満度の判定基準(日本肥満学会)：肥満（ $25 \leq \text{BMI}$ ）／普通体重（ $18.5 \leq \text{BMI} < 25$ ）／低体重（ $\text{BMI} < 18.5$ ）

«性別×世代別 BMI構成»

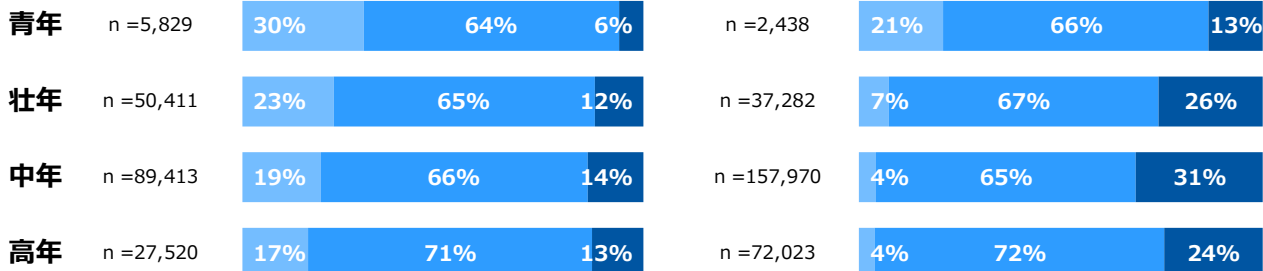
■ 低体重

■ 普通体重

■ 肥満

女性

男性



※世代：青年（15-24才）／壮年（25-44歳）／中年（45-64才）／高年（65才以上）

分析事例は次頁以降を参照

本調査結果に関するお問い合わせは弊社担当者または[お問い合わせフォーム](#)へご連絡ください

*記事本文並びにデータを無断で転載されないようお願い申し上げます

Patient Mindscape : BMI分析事例①



Patient Mindscapeの回答者をBMIの基準で「肥満／普通体重／低体重」の3群に分類し各群における疾患回答割合並びに一部疾患における治療満足度を確認しました。

「BMI別 疾患回答割合」

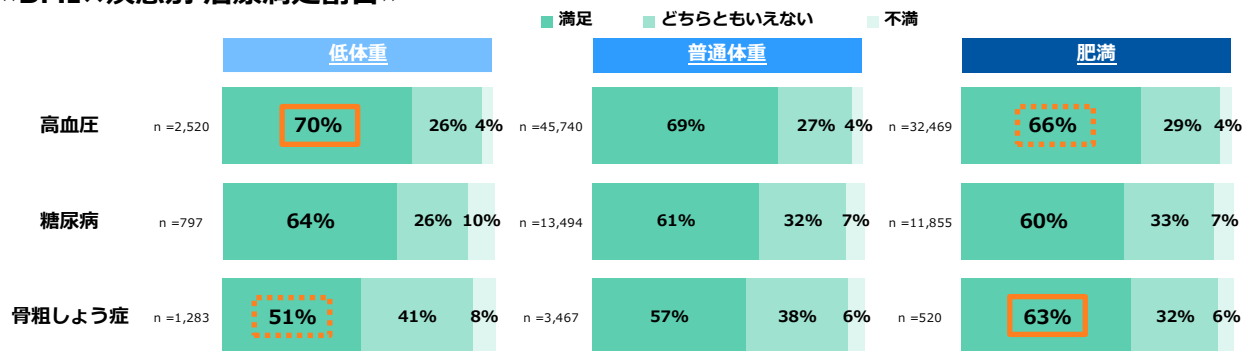
※分析事例は推計値で集計／参考情報として実n数を併記

低体重 (n = 47,602)			普通体重 (n = 295,806)			肥満 (n = 99,478)		
順位	疾患名	(%)	順位	疾患名	(%)	順位	疾患名	(%)
1	かぜ・感冒	7.1	1	高血圧	14.9	1	高血圧	30.5
2	ドライアイ	6.3	2	脂質異常症	7.6	2	脂質異常症	12.9
3	アレルギー性鼻炎 (季節性・花粉症含む)	5.6	3	かぜ・感冒	6.8	3	糖尿病	10.6
4	高血圧	5.6	4	アレルギー性鼻炎 (季節性・花粉症含む)	6.5	4	かぜ・感冒	7.0
5	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	4.8	5	ドライアイ	5.2	5	痛風・高尿酸血症	6.7
6	骨粗しょう症	3.6	6	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	4.4	6	アレルギー性鼻炎 (季節性・花粉症含む)	6.5
7	脂質異常症	3.5	7	糖尿病	4.0	7	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	4.5
8	不眠症	3.4	8	湿疹・蕁麻疹	3.1	8	ドライアイ	4.4
9	湿疹・蕁麻疹	3.3	9	緑内障・高眼圧症	3.1	9	うつ病・うつ状態	3.9
10	にきび	2.9	10	不眠症	2.5	10	逆流性食道炎 (GERD)	3.7

「肥満」の群は他の群と比較して疾患回答割合が高い水準の疾患が多いことが確認され、一方「低体重」の群は他の群と比較して疾患回答割合は低いものの骨粗しょう症では回答割合が相対的に高かった。

⇒ BMIの健康リスクへの影響と併せ、BMIにより罹患しやすい疾患が異なることが示唆されました。

「BMI×疾患別 治療満足割合」



※治療満足度：調査上で「非常に満足/まあ満足」と回答したものを「満足」、「非常に不満/やや不満」と回答したものを「不満」と定義

高血圧では「低体重」の方が治療満足の回答割合が「肥満」と比較すると4pts高く、骨粗しょう症では「肥満」の方が治療満足の回答割合が「低体重」と比較すると12pts高かった。

⇒ 同一疾患であってもBMIによって、治療満足度が異なることが示唆されました。

具体的な治療不満点は次頁を参照

本調査結果に関するお問い合わせは弊社担当者または[お問い合わせフォーム](#)へご連絡ください

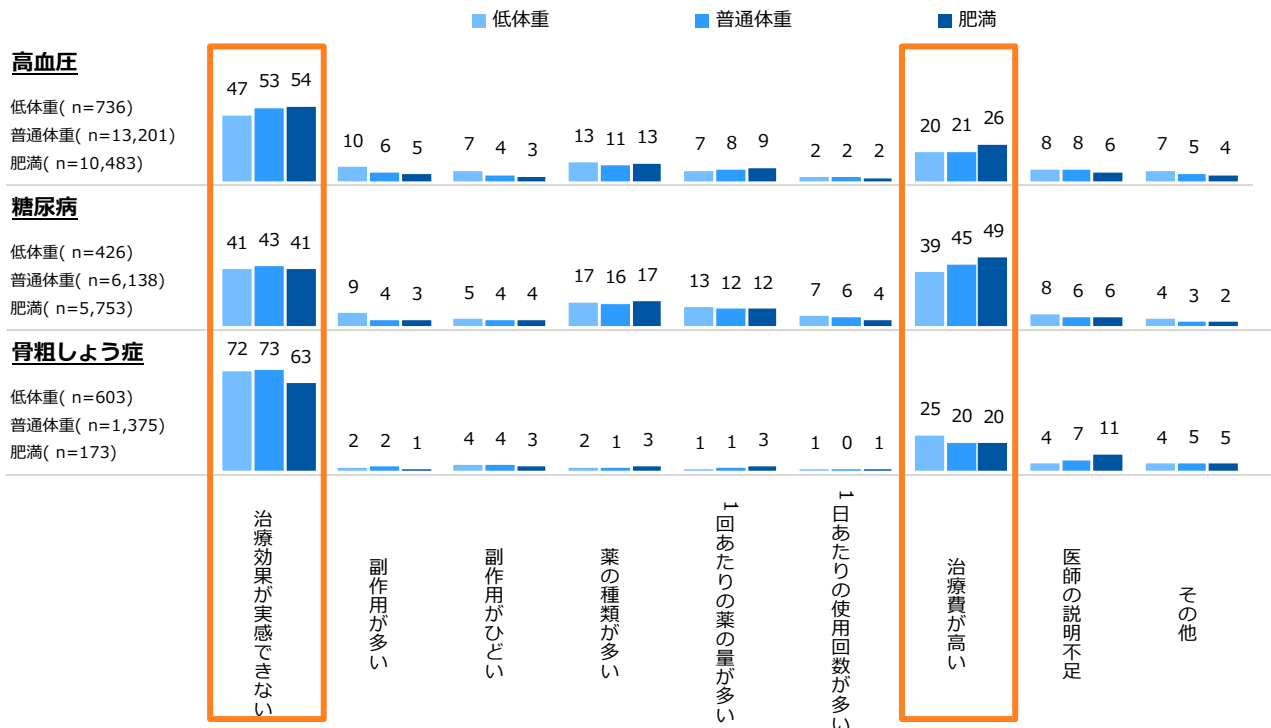
*記事本文並びにデータを無断で転載されないようお願い申し上げます

Patient Mindscape : BMI分析事例②

！ Patient Mindscapeの回答者をBMIの基準で「肥満／普通体重／低体重」の3群に分類し一部疾患における治療不満点を3群それぞれで確認しました。

※分析事例は推計値で集計／参考情報として実n数を併記

「疾患別 治療不満点回答割合（BMI比較）」



- ✓ 高血圧「肥満」では「治療効果が実感できない」の回答が「低体重」と比較して7pts高かった。
- ✓ 糖尿病「肥満」では「治療費が高い」の回答が「低体重」と比較して10pts高かった。
- ✓ 骨粗しょう症「低体重」では「治療効果が実感できない」の回答が「肥満」と比較して9pts高かった。

⇒ 同一疾患でもBMIによって治療から生じるストレスに差があることが示唆されました。

本リリースでは、Patient Mindscape回答者をBMIの基準で「肥満／普通体重／低体重」の3群に分類し、各群における疾患回答割合及び疾患ごとの治療満足度／治療不満点を確認しました。本リリースの結果から、以下のような示唆が得られました。

- BMIの健康リスクへの影響と併せて、BMIにより罹患しやすい疾患が異なる。
- 同一疾患であってもBMIによって、治療満足度が異なる。
- 同一疾患でもBMIによって治療から生じるストレスに差がある。

治療ニーズの検討では疾患特有の背景に加え、治療当事者の状態を考慮することで更なる課題解決に繋がる可能性が考えられます。Patient Mindscapeで聴取している項目を活用し、上記に加え服用薬剤や薬剤服用期間といった視点から分析することで、医療消費者のニーズを検討できます。

本調査結果に関するお問い合わせは弊社担当者または[お問い合わせフォーム](#)へご連絡ください

*記事本文並びにデータを無断で転載されないようお願い申し上げます